

遊女お初の悲恋を描いた人形浄瑠璃「曾根崎心中」の舞台である大阪市北区の露天神社が、恋する女性らに人気だ。苦境の中で愛を貫いたお初の姿を地元商店街がアピールしたのが功を奏し、いちずさを見習う恋愛の聖地として浸透した。

「ずっと幸せな夫婦になれますように」「心も美人になりたい」。JR大阪駅から約五百円のビル街の一角にある露天神社には、恋愛や美しさなどへの願いを込めた絵馬が目立つ。

曾根崎心中の時代は江戸。お初はしょうゆ屋の使用人の徳兵衛と恋仲になる。しかし徳兵衛は勝手に別の縁談を結ばされ、親友に貸した大金を

悲恋の舞台「聖地」に

大阪・曾根崎 露天神社

踏み倒される不運も続く。夫婦になる夢はかなわないと悟った二人は、死後に一緒にな



露天神社の吉沢宮司。恋愛などの願いが書かれた絵馬が掛けられている。大阪市北区で

関西発

ろうと誓い露天神社で命を絶った。

同神社の吉沢規宮司(六〇)は「悲劇だが、死後の世界が身近だった当時の時代背景がある」と解説する。「現代でいえば、遠く離れた街で再出発するようなもの。ためらわずについて行ったお初の愛情は深い」と語る。

宮司の話を参考に、神社前の「お初天神通り商店街」は昨年三月、全国のロマンチックな場所を「恋人の聖地」として認定する静岡市のNPPO法人に「悲恋の地の前向きな価値を伝えたい」と申請。新

たな聖地と認められた。

認定後、神社のパンフレットや境内に置いた掲示板で、お初が徳兵衛と永遠の愛を誓ったことを強調。寄り添う二人を題材にしたイラストコンテストも開き、入賞作品を垂れ幕にしてアーケードに飾っている。

ここ一年で神社を訪れる人は増え、五月の大型連休の参拝者数は例年の一・五倍に。女子高校生や若い女性が手を合わせる姿が目立つという。

七夕には、大規模コンパ「街コン」を開こうと商店街が準備を進めている。商店街の篠原裕次事務局長(五四)は「地域の宝をアレンジして発信したい」と意気込んでい

(共同・川嶋大介)